

7月10日

テーマ：「朝ごとに新しい主の恵み」

聖書箇所：哀歌3章22節～23節

◆今日のみことば

私たちが滅びうせなかったのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ。  
それは朝ごとに新しい。哀歌3章23節

◆メッセージ

あなたはお母さんやお父さんに、きびしく叱られたことがありますか。きっとあるでしょうね。いつもはやさしいお母さん、お父さんが、顔をまっかにして、目をつりあげて、そして大きな声で怒っても、あなたが、すなおに「ごめんなさい」とあやまったら、お母さんやお父さんはどうなりましたか。きっと、にっこり笑顔になって、あなたのことをギュッとだきしめて、ゆるしてくれたでしょう。そして、次の日の朝には、お母さん、お父さんは、あなたに「おはよう！」とやさしく語ってくれたはずです。



聖書の神さまも同じです。イスラエルの人々は、神さまがおきらいになること、悲しまれることをいっばいしました。「神さまのいうことなんか、ききたくない！」「神さまなんて、しるもんか！」と、自分たちのすきなことばかりをしたのです。さすがのおやさしい神さまも、イスラエルの人々があまりにも悪さをやめないで、とうとうお怒りになりました。そして、バビロンという外国の強い国をつかって、イスラエルの人々をうんとこらしめたのです。



でも、イスラエルの人々が、神さまに「ごめんなさい」とすなおにあやまったので、神さまはゆるしてくださいました。あなたのお母さん、お父さんと同じですね。いえ、神さまは、お父さんお母さん以上です。ゆるしてくださいました神さまは、過去の失敗や悪を責めることはありません。「まったく、いつもこうなんだから。」と前のことを持ち出すこともなさいません。いつも新しい祝福を与えてくださいます。神さまの愛と恵みは、ぜったいなくなることはありません。そして、神さまはあなたのことをけっして一人ぼっちにはなさいません。神さまは、本当にあわれみ深いお方です。神さまの豊かな恵みを感謝しましょう。

◆お祈り

「神さまのぜったいにならない愛と恵みをありがとうございます。きょうも神さまにしたがいます。」

(北秋津キリスト教会牧師 浜田進)